



阪急長岡天神駅周辺整備基本計画



平成 31 年 3 月



はじめに

～ひと中心の賑いのあるまち～



長岡京市の中心市街地に位置する阪急長岡天神駅周辺は、京都や大阪といった大都市に近接する優れた立地と市街地の間近に臨み見る、自然やみどり豊かな西山に抱かれ、長岡天満宮を代表する歴史文化に恵まれた、まさに、利便性となつかしさがコンパクトに兼ね備わった「かしこ暮らしっく」を象徴する地域です。

この阪急長岡天神駅周辺のまちづくりは、昭和 32 年に「開田土地区画整理事業」の都市計画決定以降、JR 長岡京駅前の再開発事業や京都縦貫自動車道、それに伴う阪急西山天王山駅周辺整備事業を優先的に取り組んできたため、具体的な事業化に至らず、大きな課題として残されてきました。このような状況のなか、阪急長岡天神駅周辺のまちづくりを再始動するため、平成 27 年 7 月に地域の方々を中心に「長岡天神駅周辺まちづくり協議会」が設立され、2 年余の検討を経て、平成 30 年 3 月に「長岡天神駅周辺まちづくり基本構想」の提言をいただきました。

そしてこのたび、この提言を踏まえ、これからの新たなまちづくりに対応した基本方針として「阪急長岡天神駅周辺整備基本計画」を策定いたしました。

『ひと中心の賑わいのあるまち』をまちづくりのコンセプトとして、誰もが楽しく回遊でき、人が集い交流する、長岡天神らしい歴史と賑わいを感じることができる住み心地のよいまちの創生を目指します。

今後、将来の設計図が描かれたこの基本計画を道しるべとして、市民・事業者・行政の協働と連携により、阪急長岡天神駅周辺の新しいまちづくりの早期実現に向け取り組んで参りたいと考えておりますので、市民、事業者の皆様のなお一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり、熱心にご議論いただきました策定委員会委員の皆様をはじめ、貴重なご意見やご提案をいただきました、まちづくり協議会の皆様、市民の皆様に心から厚く御礼申し上げます。

平成 31 年 3 月

長岡京市長

中 小路 健吾

< 目 次 >



1. 阪急長岡天神駅周辺整備基本計画とは	1
2. 阪急長岡天神駅周辺地区を取り巻く状況	2
(1) まちづくりの背景	
(2) まちづくりの対象地域	
(3) まちづくりの課題	
(4) 都市計画マスタープランでの位置づけ	
(5) 長岡天神駅周辺まちづくり基本構想	
(6) まちづくりに対する合意形成	
3. 阪急長岡天神駅周辺まちづくりのコンセプト・目標	8
(1) まちづくりのコンセプト	
(2) まちづくりの目標	
4. 阪急長岡天神駅周辺まちづくりの全体計画	9
(1) 土地利用計画	
(2) 交通・道路計画	
(3) 景観・環境計画	
5. 阪急長岡天神駅周辺まちづくり計画	12
(1) 阪急長岡天神駅周辺の将来イメージ図	
(2) 鉄道高架化の計画	
(3) 駅前広場の計画	
(4) 天神通り、アゼリア通りの計画	
(5) 補助幹線道路の計画	
6. 阪急長岡天神駅周辺まちづくりの手順等	17
(1) 具体的なまちづくりの手法	
(2) 計画実現に向けたロードマップ	

参考資料



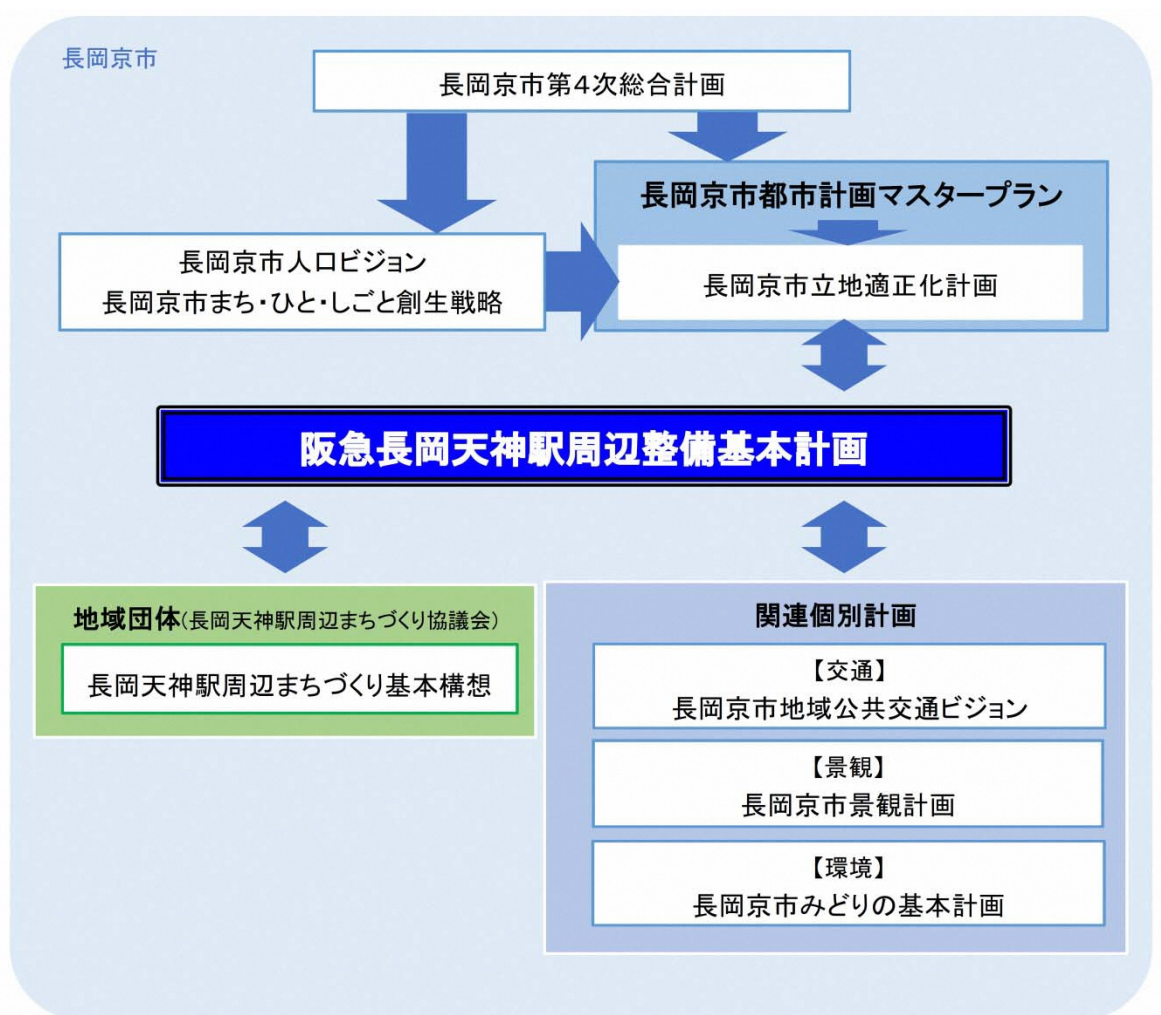
1. 阪急長岡天神駅周辺整備基本計画とは

長岡京市では、平成 28 年 3 月に、市全体の将来のまちづくりの方向を示す「第二期長岡京市都市計画マスタープラン」を策定し、阪急長岡天神駅周辺は、本市の玄関口として利便性を活かした空間を有効に活用し、バランスのとれた都市機能と住宅整備によるにぎわいのあるエリア形成を図る重要な地域として位置づけています。

また、平成 30 年 3 月には、地域住民らでつくる「長岡天神駅周辺まちづくり協議会」より阪急長岡天神駅周辺の総合的な将来像を描いた、長期的なまちづくりの“道しるべ”となる「長岡天神駅周辺まちづくり基本構想」が市に提言されました。

「阪急長岡天神駅周辺整備基本計画」は、これらの計画を踏まえ、市民・事業者・行政が連携して、阪急長岡天神駅周辺の概ね 20 年間のこれからのまちづくりの具体的な取組みを行う際の指針となる計画です。

■上位・関連計画との関係



2. 阪急長岡天神駅周辺地区を取り巻く状況

(1) まちづくりの背景

阪急長岡天神駅周辺は、本市の中心市街地としての役割を永年にわたって担ってきた地区であり、戦後、都市基盤施設の強化や都市機能の増進を目的に、「開田土地区画整理事業」を昭和32年に都市計画決定しました。（下図、黄色枠）

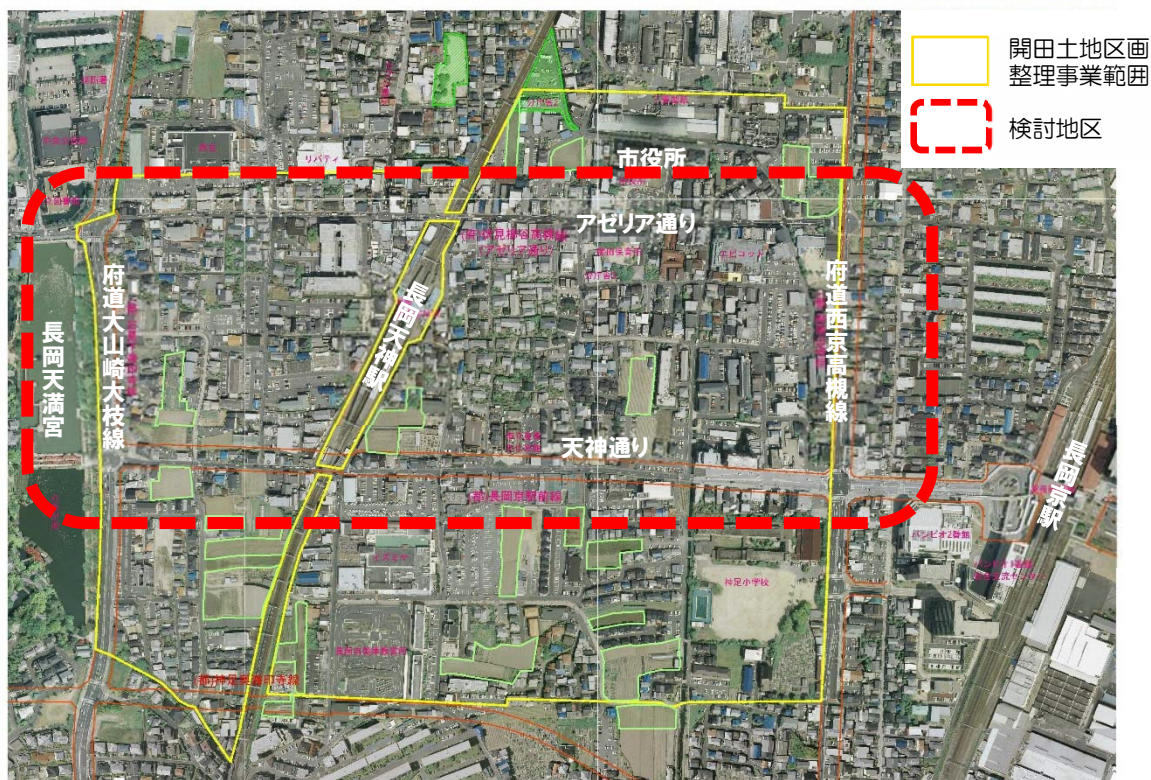
決定後の社会経済情勢の変化や市街化の発展、また地権者の意向調整に難航した経過もあり、当初の計画通りの事業実施が実質的に困難な状況となっています。

この間、JR長岡京駅周辺の駅前再開発や、京都縦貫自動車道の開通に合わせて阪急西山天王山駅周辺整備を先行して実施してきました。

こうした経過により、将来的な人口減少や都市活力の減少が懸念される中、京都大阪間の交通至便で良質な住宅都市としての本市の魅力を維持し、京都府内でも有数の観光資源を活かしたまちづくりを進めるために、市の玄関口であり都心拠点である阪急長岡天神駅周辺を整備することで、魅力的な都心拠点づくりが望まれています。

(2) まちづくりの対象地域

本計画の対象区域は、阪急長岡天神駅の周辺に位置する幹線道路（アゼリア通り、天神通り、大山崎大枝線、西京高槻線）に囲まれた、東西に約1km、南北に約0.5kmの各幹線道路の沿道を含んだ範囲とします。



(3) まちづくりの課題

上位計画での位置づけと駅周辺の現状を踏まえて、阪急長岡天神駅周辺まちづくりの課題を項目ごとに分類し、以下のとおり整理します。

《道路・交通》

- 1) 歩行者・自転車通行の安全性、快適性の確保
- 2) 踏切付近での交通渋滞の解消
- 3) 駅へのアクセス性向上と交通結節機能の強化
- 4) 鉄道による東西市街地の分断解消
- 5) 狭くて通りにくい生活道路の改善
- 6) アゼリア通りへの交通集中、著しい混雑の解消



1時間に最大 35 分閉まる踏切
滞留長は 200m に及ぶこともある



歩道幅員が狭く、歩行者、自転車、
車が混在

《土地利用・賑わい》

- 1) 長岡京市の玄関口にふさわしい駅前空間の創出
- 2) 駅近の利便性を活かした土地利用
- 3) 長岡天満宮や周辺商店街への回遊を促す仕組みづくり



市の玄関口として魅力が乏しい駅前空間

《住環境》

- 1) 安全・安心な住環境の形成
- 2) 快適で品格ある都市環境・景観形成

(4) 都市計画マスタープランでの位置づけ

阪急長岡天神駅周辺地区は、第二期長岡京市都市計画マスタープラン（H28.3）において「都心ゾーン」に位置づけられ、以下のようなまちづくりを進める地区としています。

【都市づくりの理念】

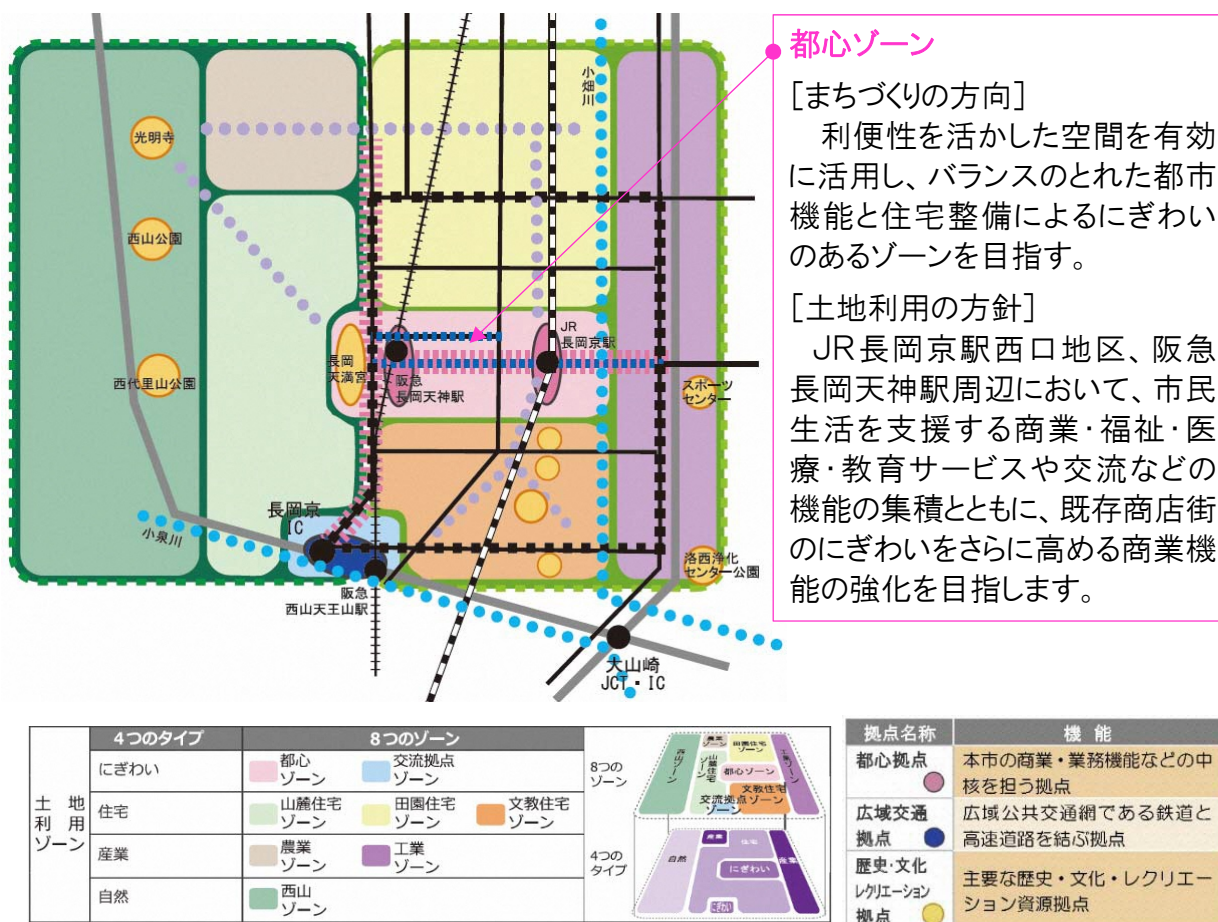
～訪れたい、住みたい、住み続けたい～
みどり・歴史・ひとの織りなす にぎわいとうるおいの 長岡京



【都市づくりの方針】

- <環境> みどりと歴史を活かした魅力づくり
- <交流> 地域特性に応じた交流とにぎわいづくり
- <安全> ひとや環境にやさしく安全で安心な空間づくり
- <ひと> 市民が文化やコミュニティを育む環境づくり

【将来都市構造】



(5) 長岡天神駅周辺まちづくり基本構想

長岡天神駅周辺まちづくり協議会では、平成 27 年 7 月の発足以来、2 年 9 か月にわたり、勉強会や先進地の視察を重ねるとともに、開田自治会区域の住宅及び営業店舗 3,915 軒（全世帯）に対してまちづくりアンケートを行い、周辺住民等の意見を広く把握した上で「長岡天神駅周辺まちづくり基本構想」（平成 30 年 3 月）を策定し、まちづくりのコンセプトと3つの目標をまとめました。

また、この構想には、具体的な4つの提案が含まれています。

長岡天神駅周辺まちづくりコンセプトと3つの目標

ひと中心の賑わいのあるまち ～長岡天神に暮らす～

人にやさしい 安心・安全なまち

- ・安心・安全な歩行空間づくり
- ・生活道路の改善
- ・踏切付近での渋滞の解消
- ・利用しやすい公共交通

賑わいがあり、 歴史を感じるまち

- ・長岡天神駅周辺のエリア価値の向上
- ・買い物しやすい商店街づくり
- ・何度も訪れたくなる駅前づくり
- ・天神詣りを楽しめるまちづくり

ゆとりある、 住みたくなるまち

- ・便利で良質な住環境づくり
- ・今ある風景を大切にしたいまち
- ・ゆったりと歩きたくなるまち
- ・ほっとくつろげる憩いの場づくり

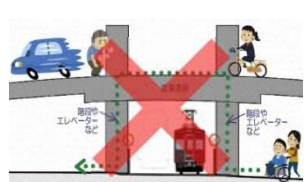
まちづくりへの4つの提案

1. 阪急線路の立体化推進

交通環境の向上、土地の有効活用によるまちの活性化が可能な阪急線路の立体化を推進。



都市計画決定されている「天神通りを道路橋として阪急線路をまたぐ計画」は望まない。



2. 駅前広場の整備

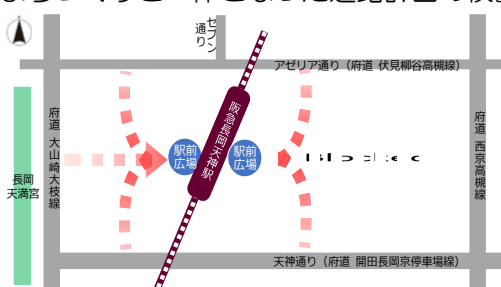
乗継ぎしやすく、商店街からの距離も近い、駅の直近への駅前広場の設置が望ましい。



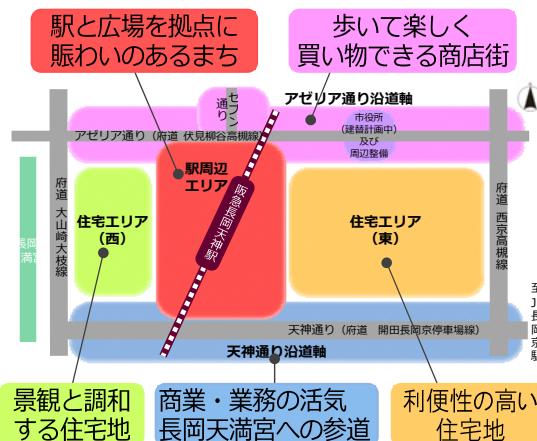
路上駐車への早期対策のため、天神通り沿いへの一時的な駅前広場の整備が望ましい。

3. 駅周辺の道路計画の考え方

- ・安全・快適な歩行者ネットワークの形成。駅前広場へのアクセス性、住宅地の通り抜け車両の抑制、歩道・自転車道の整備。
- ・移転を余儀なくされる住民の生活再建に配慮。
- ・まちづくりと一体となった道路計画の検討。



4. 土地利用の考え方



(6) まちづくりに対する合意形成

阪急長岡天神駅周辺のまちづくりについて、計画段階から市民や関係団体等に地域の課題や計画の目的を共有するとともに、「まちづくり」に対する意見や要望を「基本計画」に積極的に取り入れるため、シンポジウムや市民アンケート、意見交換会など多様な方法を用いて市民意向を把握しました。

その結果、鉄道の高架化や駅前の魅力向上などに対する期待が高まっていることがわかりました。

シンポジウム

【参加者数約 130 名】

- ・ 駅中心のまちづくりに関する基調講演
- ・ パネルディスカッション など



市民アンケート

【有効回答数 1,324】

- ・ 18 歳以上の市民 3,000 人を対象

《調査内容》

- ・ 駅前土地利用について
- ・ 駅前広場整備について
- ・ 鉄道の立体交差化について
- ・ 施策の優先度について など

意見交換会

【3 日間開催、参加者数 54 名】

- ・ 基本計画の検討内容の説明
- ・ 市民との意見交換



様々な方法で
市民意向を
把握

オープンハウス

【8 日間開催、来場者数 669 名】

- ・ 市役所や阪急長岡天神駅で開催
- ・ 市の開催するイベントへ出展



関係団体ヒアリング

【13 回開催、来場者数 157 名】

- ・ 地元商店街をはじめ多様な関係団体からの意見聴取を実施
- ・ 意見交換会、オープンハウスでまちづくりに興味を持った方々とも意見交換を実施



パブリックコメント

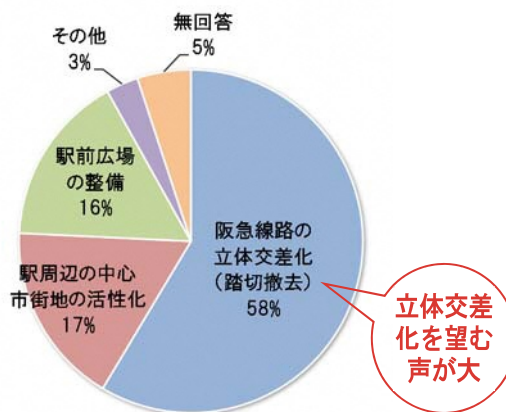
【意見数 52 件】

- ・ 基本計画(案)を市のホームページや市内の公共施設などで公開し、意見を募集
- ・ オープンハウス形式で基本計画(案)の周知を行い意見公募

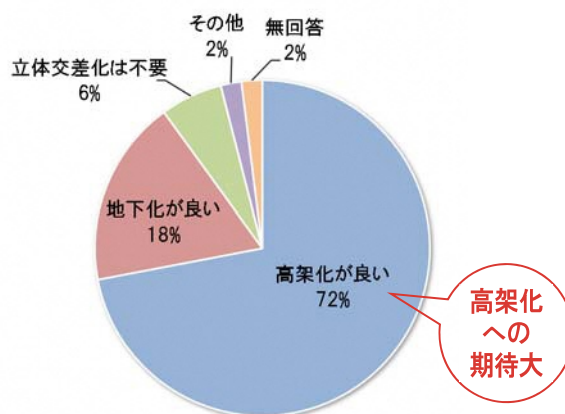


市民アンケート調査結果（抜粋）

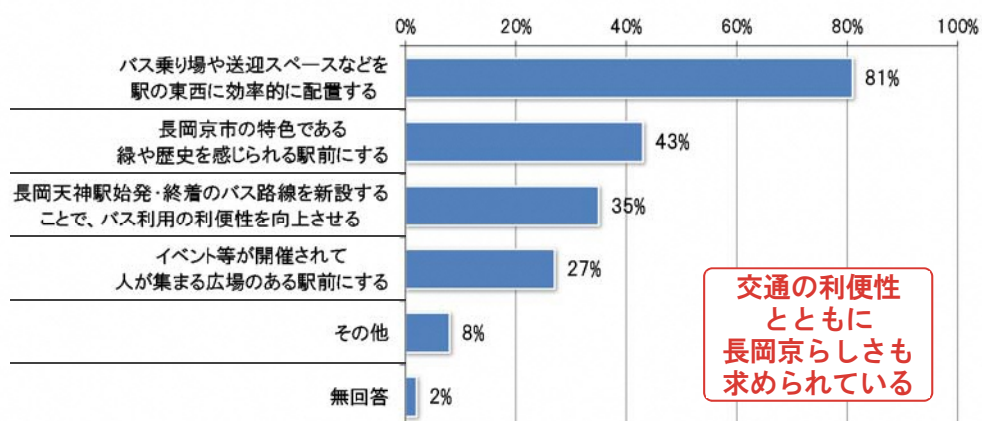
重点的に取り組むべき施策



阪急線路の立体交差化に対する意向



駅前広場の整備について重視すべきこと



3. 阪急長岡天神駅周辺まちづくりのコンセプト・目標

人と人、人とまちをつなぎ、新たな賑わいとその賑わいの面的広がりを創出するまちづくりを目指して、以下のまちづくりのコンセプトとまちづくりの目標を掲げます。

(1) まちづくりのコンセプト

ひと中心の賑わいのあるまち

(2) まちづくりの目標

まちづくりのコンセプトである「ひと中心の賑わいのあるまち」を実現するため、まちづくりの目標を次のように定めます。

① 安全・安心で楽しく回遊できる人にやさしいまち

東西市街地の一体化や歩行者、公共交通が優先された道路空間の創出による誰もが安全で安心して楽しく回遊できるまちを目指します。

② 駅を中心として人が集い交流するまち

阪急長岡天神駅周辺を利用する誰もがアクセスしやすく利用しやすい空間とすることで、駅とまちの賑わいをつなぐ人の流れを生み出し、多くの市民や観光・ビジネスによる来訪者など多様な人々が集い交流するまちを目指します。

③ 長岡天神らしい歴史と賑わいを感じるまち

多くの人々が訪れる長岡天満宮や西山の景観など、長岡天神らしさを表す地域資源を活かしながら、来訪者に回遊する楽しみをもたらす商店街の充実や、まちの玄関口にふさわしい都市機能を集積し、賑わいを創出する歴史と賑わいを感じる個性あるまちを目指します。

④ 便利で良質な住み心地の良いまち

阪急長岡天神駅に近接している利便性を活かすとともに、西山や長岡天満宮の緑など、長岡京市を代表する地域資源を身近に感じることが出来る便利で良質な住み心地の良いまちを目指します。

4. 阪急長岡天神駅周辺まちづくりの全体計画

まちづくりの目標を実現するため、阪急長岡天神駅周辺における具体的なまちづくりの全体計画を次のように定めます。

(1) 土地利用計画

駅周辺エリア

多くの人を訪れ交流する、新たな長岡京の顔となる賑わい拠点エリア

- 土地の高度利用を図り、商業・業務、医療・福祉、文化・交流機能や複合型中高層住宅等を集積し、医・商・住が一体となった賑わいのある都心拠点を形成します。
- 駅周辺は、広場の整備とあわせて、地域の玄関口として、まちの景観を形成し、人々が集い、賑わいに触れられる公共空間を創出します。
- 駅へのアクセス機能を充実させ利便性の高いエリアを形成します。

アゼリア通り沿道軸

歩いて楽しく買い物できる商店街のある、人中心の商業軸

- 歩くことによって新たな発見や楽しさがあるまちを目指して、人のぬくもりと個性ある商店街を形成することで、回遊性・滞留性の向上を図り、アゼリア通りの賑わいを創出します。
- 市民や来訪者が安心して楽しく回遊できるエリアとします。

住宅エリア（西）

長岡天満宮の歴史的景観と調和する緑豊かな住宅地エリア

- 長岡天満宮・八条ヶ池の歴史的な景観と、西山からの緑の連続性に配慮したうるおいのある住宅地を形成します。

天神通り沿道軸

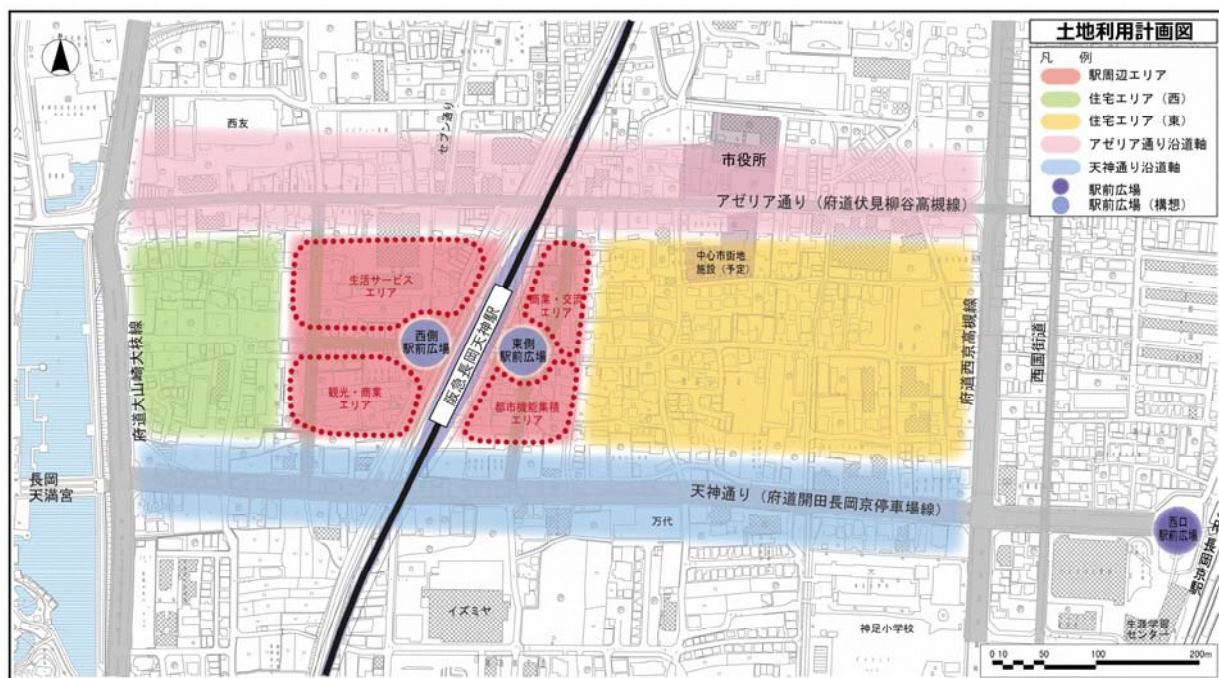
商業・業務による活気と、長岡天満宮への参道を活かした長岡京市のシンボル軸

- 土地の高度利用や商業・業務機能の立地を誘導し、居住環境との調和、整ったまちみの形成を図ります。
- 低層部には歩行者に回遊する楽しさを与える沿道サービス機能を中心とした商業施設や交流施設を誘導します。
- 駅西側は、長岡天満宮への参道を活かした、歴史景観と調和した個性ある店舗の配置を推進します。

住宅エリア（東）

都市の利便性とうるおいが感じられる住宅地エリア

- 共同住宅や生活利便施設の誘導を図り、良質な居住環境と利便性が調和した住宅地を形成し、都心居住を促進します。



(2) 交通・道路計画

幹線道路



阪急線路の高架化の推進

- 東西市街地の分断と交通混雑を解消するため、鉄道高架事業を推進し、鉄道の高架化を図りつつ、道路ネットワーク整備を推進します。

快適性・安全性の向上

- 地区内外を結び、歩行者、自転車、自動車の快適で安全な交通を担う主要経路として機能強化を図ります。

補助幹線道路



駅前広場へのアクセスを含む駅周辺の補助幹線道路整備

- 駅へのアクセス性を高めるとともに、住宅地区内への通過交通を抑制するため、補助幹線道路を整備し、市街地の南北動線を誘導します。
- 歩行者・自転車等の安全性の確保を図ります。

駅前広場



駅前広場の整備

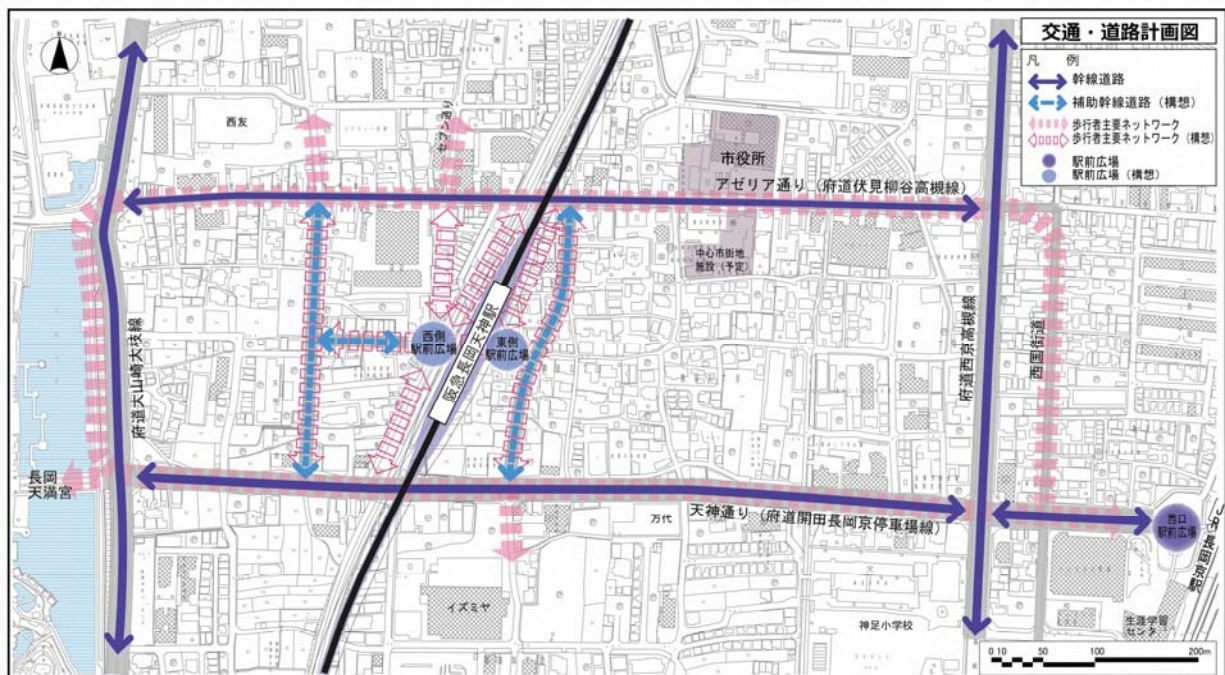
- 交通結節機能の強化を図るため、阪急長岡天神駅の東西両側に交通特性に応じた駅前広場を整備します。
- 駅前広場を中心とした公共空間を様々な世代の人々が、憩い・交流・活動の場として利用できる「にぎわいの拠点」として整備します。

歩行者主要ネットワーク



歩いて回遊できる安全・快適な歩行者ネットワークの形成

- 地区を訪れた人々が歩いて楽しい、快適さを感じるまちとなるよう、歩行者が主体の交通ネットワークの形成を目指します。
- 地域に根差した商店街を活かしていくため、駅周辺の道路網強化に合わせた歩行空間（歩道）を整備し、ひととまちがつながる回遊軸を確保します。
- ひと中心のまちづくりを進めるため、できる限り駅前への車両を抑制した駐車場整備を推進します。



(3) 景観・環境計画

長岡京市の景観は、『長岡京市景観計画』において、「みどりと歴史 人が織りなす、魅力と誇りにあふれる景観」を景観形成の基本理念とし、景観形成を進めています。

阪急長岡天神駅周辺も上記の基本的な考え方に基づき、無電柱化を含めた景観の形成や環境の創出を図ります。

景観拠点



駅前のシンボル空間形成

- 阪急長岡天神駅の東西両側に、駅前広場を中心に“長岡天神らしさ”を感じさせる、まちの顔にふさわしいシンボリックな景観を形成します。
- 駅東西のそれぞれの特性に応じた、賑わいやうるおいのある景観を形成します。

景観沿道軸



アゼリア通り

- 長岡天満宮・八条ヶ池と西国街道を結ぶ商業や交流の中心軸として、西山からの緑の連続性を確保したヒューマンスケールで賑わいのある景観を形成します。

天神通り

- 長岡京市のシンボル軸として、長岡天満宮・八条ヶ池と一体感ある秩序と風格のある道路景観を形成します。

景観重点地区



長岡天満宮の景観と調和したまちなみ形成

- 長岡京市のシンボルである長岡天満宮及び八条ヶ池の歴史的な景観を保全するとともに、周辺の緑豊かな住宅地のまちなみが一体となって、静穏で落ち着いた歴史的な雰囲気を感じさせる景観形成を行います。
- 重要な沿道軸である天神通りと文化センター通りと接続しており、それぞれの通りからの眺めも意識した景観形成を行います。

旧街道軸



西国街道

- 歴史的街道の沿道であることを意識し、沿道に残る歴史的資源と道路等の公共空間・まちなみが一体となって旧街道の歴史的な雰囲気を感じさせる景観を形成します。



5. 阪急長岡天神駅周辺まちづくり計画

(1) 阪急長岡天神駅周辺の将来イメージ図



- 駅周辺エリアを中心に都市機能の高度化・集約化を図ります。
- 駅西側、特に南方向は、長岡天満宮を意識し建物の高さを中低層とし、高架した駅舎からの新たな視点場の形成を図ります。

(2) 鉄道高架化の計画

- 東西の市街地及び駅と都市機能の一体化を図り、周辺の商業施設や長岡天満宮へ賑わいを波及させる『都心拠点』を形成します。
- 駅舎下は、歩行者が安心して自由に行き交うことができる空間を形成します。
- 高架下は連続立体交差事業によって新たに生み出される空間を積極的に活用し、駅周辺の回遊性を高めます。
- 高架下を活用する民間施設は、既存商業施設、商店街との共存を前提に、民間事業者との連携を保ちながら検討します。
- 周辺宅地への日照や周辺景観との調和に配慮します。
- 駅までの移動手段として自転車の利用が多いことから、高架下空間も活用しながら道路ネットワークを踏まえた適切な位置に駐輪場を整備します。

(3) 駅前広場の計画

- 駅前広場を中心とした公共空間を、子どもから高齢者までの様々な世代の人々が、憩いの場、交流の場、活動の場として利用できる居心地の良い滞留空間と、安全に安心して移動でき、高い回遊性を持った歩行者空間に編成し、「にぎわいの拠点」としての整備を図ります。
- コミュニティバス乗降場及びタクシー乗降場・待機スペースは駅西側、自家用車乗降場は東西両側に配置します。その際、自家用車より公共交通や身障者送迎スペースを優先した配置とします。
- 路線バスは、現状のバス路線を活かしアゼリア通りにバスベイを設けることを基本として検討を進めます。その際、アゼリア通りの横断に対する対策、歩行困難な方や高齢者、雨天時への対策に留意した整備を推進します。

駅西側は、“長岡天神らしさ”を感じさせる、まちの顔にふさわしいシンボリックで緑豊かな魅力ある景観を形成するとともに、民間事業者が主体となり官民が連携しながら、魅力ある賑わいを創出する仕掛けや仕組みづくりを推進します。

【西側駅前広場のイメージ】



駅西側の補助幹線道路から駅前広場を望む

駅東側は、ビジネスや市民の利用の拠点として、交流機能を配置したまとまりのある広場空間や、ゆとりと緑陰のある休憩・待ち合わせの場などを配置します。

【東側駅前広場のイメージ】



駅東側の補助幹線道路から駅前広場を望む

(4) 天神通り、アゼリア通りの計画

①天神通り（都市計画道路名：長岡京駅前線、府道名：開田長岡京停車場線）

- ・ 長岡京市のシンボル軸として、土地の高度利用や商業・業務機能の立地を誘導し、居住環境との調和、整ったまちなみの形成を図ります。
- ・ 天神通りは、JR長岡京駅から長岡天満宮へと続く長岡京市のシンボルロードとして、道路の拡幅整備を順次実施していきます。
- ・ 拡幅整備された道路について、歩行者が安全・安心に横断できる方策の検討を進めます。

【天神通りの沿道イメージ(駅東側)】



阪急高架の東側から西山方向を望む

【天神通りの沿道イメージ(駅西側)】



阪急高架の西側から西山方向を望む

②アゼリア通り（府道名：伏見柳谷高槻線）

- 市民や来訪者が安心して楽しく買い物できるひと中心の商業軸を形成するため、道路空間の再配分等により豊かな歩行空間の創出を目指します。
- 地区内の円滑な交通を図るため、補助幹線道路へ繋がる右折レーンの設置などの道路の基盤整備に取り組みます。
- 沿道部では建物のセットバックを誘導し、本市を代表するキリシマツツジなどによる緑化や休憩スポット等オープンスペースの確保を推進します。

【アゼリア通りの沿道イメージ】



阪急高架の西側から市役所方向を望む

（５） 補助幹線道路の計画

- 駅へのアクセス性を高めるとともに、住宅地内への通過交通を抑制するため、アゼリア通りと天神通りを結び駅周辺の南北方向の交通ネットワークを形成する主要な道路として整備します。
- 歩行者・自転車等が安全、快適に通行できる空間を確保するため、道路空間の構成について検討を進めます。

6. 阪急長岡天神駅周辺まちづくりの手順等

(1) 具体的なまちづくりの手法

まちづくりの手法には、一般的に駅前広場など公共施設として利用する予定の用地を確保し整備を行う「街路事業」や、該当箇所に周辺地域を含めた区域で換地方式を活用した「土地区画整理事業」などの手法があります。

本地区のように、都市計画道路の整備と鉄道の高架化にあわせた周辺の土地利用の再編など、整備内容が多岐にわたる場合においては、整備の目的に応じた複数の事業手法を組み合わせることで同時に整備することが必要となります。

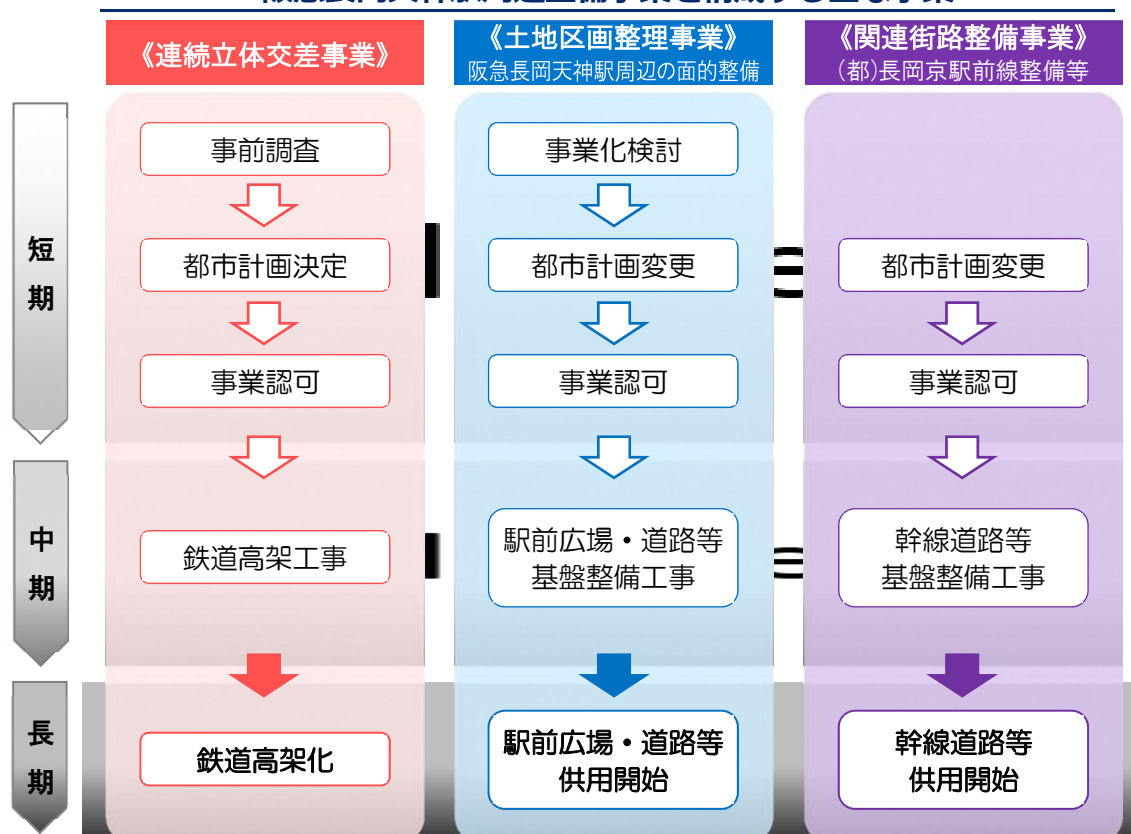
本地区においては、駅周辺エリアを中心に「土地区画整理事業」による面的整備を主体として、交通機能の向上や東西市街地の回遊性向上に向けた各種都市基盤施設整備と、居住・商業・都市サービス等都市機能の充実にに向けた宅地の再編を推進していく考えです。

(2) 計画実現に向けたロードマップ

本計画の策定後、市民や長岡天神駅周辺まちづくり協議会などの関係団体との協働及び京都府や交通事業者などの関係機関と連携を行い、具体的な事業計画の検討に着手するとともに、段階的な整備を進めていきます。

「阪急長岡天神駅周辺整備基本計画」策定

阪急長岡天神駅周辺整備事業を構成する主な事業



参考資料

計画検討の経緯

① 阪急長岡天神駅周辺のまちづくりに向けた取り組み体制

市では賑わいのある都心づくりを目指し、学識経験者・市民・関係行政機関等で構成された基本計画策定委員会を立ち上げ、専門的な意見を聴取するとともに、地権者による長岡天神駅周辺まちづくり協議会からの基本構想の提言も踏まえながら、阪急長岡天神駅周辺のまちづくりについて検討を進めてきました。

年度	基本計画策定委員会（行政）	まちづくり協議会（地権者）
27	—	設 立
28	設 立	勉強会・現地視察
29	基本計画の検討	基本構想の策定・提言
30	（市）基本計画の策定	基本計画への意見
31	（市）整備に向けた取り組み	構想実現への取り組み



阪急長岡天神駅周辺整備基本計画策定委員会

学識経験者、市民、関係行政機関等の意見を聴取することを目的に市が運営しています。

長岡天神駅周辺まちづくり協議会

開田地域に住む住民が主体となり、長岡天神駅周辺の住環境の向上と、中心部としての賑わいの両立を目指して活動しています。

②阪急長岡天神駅周辺整備基本計画の策定経緯

開催日等	会議名称等	主な内容
平成 29 年 3 月 28 日	第 1 回阪急長岡天神駅周辺 整備基本計画策定委員会	・ 基本計画策定委員会の目的及び検討内容 ・ 阪急長岡天神駅周辺地区の現況と課題 ・ 委員会での具体的な検討内容(案)
平成 29 年 5 月 29 日	第 2 回阪急長岡天神駅周辺 整備基本計画策定委員会	・ 道路と鉄道の立体交差方策について
平成 29 年 8 月 1 日	第 3 回阪急長岡天神駅周辺 整備基本計画策定委員会	・ 鉄道高架下空間の活用事例紹介、市街地分断の解消事例紹介 ・ 駅前広場とアクセス道路について
平成 29 年 11 月 14 日	第 4 回阪急長岡天神駅周辺 整備基本計画策定委員会	・ 長岡天神駅周辺まちづくり協議会のアンケート結果について ・ 阪急長岡天神駅周辺の交通の流れ ・ 駅前広場の配置について ・ 補助幹線道路の配置案について
平成 30 年 2 月 7 日	第 5 回阪急長岡天神駅周辺 整備基本計画策定委員会	・ 駅前広場の配置・機能について ・ 駅前広場の配置と道路網の検討について
平成 30 年 4 月 25 日	第 6 回阪急長岡天神駅周辺 整備基本計画策定委員会	・ 長岡天神駅周辺まちづくり基本構想【報告】 ・ 駅舎下の構造及び道路網の検討について ・ 鉄道の立体化方法の検討について ・ 駅舎の完成イメージについて ・ 合意形成手法の検討について
平成 30 年 6 月 29 日	第 7 回阪急長岡天神駅周辺 整備基本計画策定委員会	・ 土地利用計画の検討について ・ 駅前広場の機能分担の検討について ・ アンケート内容について
平成 30 年 7 月 15 日	どうする！？ながてん 阪急長岡天神駅周辺まちづ くりを考えるシンポジウム	・ 基調講演「駅中心のまちづくりに向けて」 ・ パネルディスカッション「長岡天神駅周辺まちづくりについて」 【参加者数：約 130 名】
平成 30 年 7 月 19 日～ 8 月 3 日	長岡天神駅周辺まちづくりに 関するアンケート調査	・ 18 歳以上の市民を対象（3,000 人無作為抽出）にアンケート調 査を実施 【有効回答数 1,324（回収率 44%）】
平成 30 年 8 月 24 日	第 8 回阪急長岡天神駅周辺 整備基本計画策定委員会	・ 道路網の検討について ・ 駅前広場の機能配置の検討について ・ 基本計画骨子（案）8 月版について
平成 30 年 9 月 7～9 日	意見交換会	・ 検討状況の説明とグループでの意見交換を実施 7 日：市役所、8 日：図書館、9 日：バンビオ 【参加者数：合計 54 名】
平成 30 年 10 月 11 日	第 9 回阪急長岡天神駅周辺 整備基本計画策定委員会	・ 意見交換会の開催報告 ・ 市民アンケート調査結果について ・ 駅前広場の検討について ・ 補助幹線道路の検討について ・ 基本計画骨子（案）10 月版について
平成 30 年 10・11 月	オープンハウス	・ パネル展示や資料配付、聞き取りによる意見聴取を実施 10 月 15 日～16：市役所、17 日～21 日：阪急長岡天神駅 11 月 17 日：環境フェア 【来場者数：合計 669 名】
平成 30 年 11 月 12 日	第 10 回阪急長岡天神駅周辺 整備基本計画策定委員会	・ 基本計画（素案）について ・ オープンハウスの開催報告について
平成 31 年 1 月 16 日	第 11 回阪急長岡天神駅周辺 整備基本計画策定委員会	・ 基本計画（案）について
平成 31 年 1 月 21 日～ 2 月 15 日	パブリックコメント	・ 阪急長岡天神駅周辺整備基本計画（案）について 市ホームページへの掲載、市政情報コーナー及びまちづくり政 策室等での閲覧により意見募集 【意見数：18 名（52 件）】
平成 31 年 3 月 20 日	第 12 回阪急長岡天神駅周辺 整備基本計画策定委員会	・ パブリックコメントの結果について ・ 基本計画について

③阪急長岡天神駅周辺整備基本計画策定委員会委員名簿

	氏 名	職 名
学識経験者	おいかわ きよあき 及川 清昭	立命館大学 理工学部 教授
	おおば てつはる 大庭 哲治	京都大学大学院 工学研究科 准教授
関係団体	ふじい のぶゆき 藤井 宣之	長岡京市商工会
	べっしょ あきら 別所 昭 (第6回委員会まで) たかはし やすかず 高橋 靖和 (第7回委員会から)	長岡京市観光協会
	やました き さ お 山下 起査雄	長岡中央商店街振興組合
	ゆかわ あきら 湯川 明	長岡天神駅前相互会
	みよし としあき 三好 俊昭	長岡京市身体障がい者団体連合会
	みやこうじ しょうじ 宮小路 正次 (第1回委員会まで) はしもと みつお 橋本 光夫 (第2回委員会から)	長岡天神駅周辺まちづくり協議会
	おくもと かずみ 奥本 和巳 (第1回委員会まで) たかはし はるお 高橋 治男 (第2回委員会から)	長岡京市自治会長会
	いそずみ よしあき 五十棲 義明	開田自治会
	おおくぼ たくじ 大久保 卓治	エスリード長岡天神自治会
市民委員	きのむら な み こ 木野村 奈美子	公募
交通管理者	きぬがさ たくみ 衣笠 巧 (第4回委員会まで) さたけ ひさき 佐竹 久喜 (第5回委員会から)	京都府向日町警察署
	お ち あつし 越智 厚	阪急電鉄株式会社
バス交通事業者	のざき さとし 野崎 敏 (第5回委員会まで) たなか よしたか 田中 祥敬 (第6回委員会から)	阪急バス株式会社
	なかじ あつもと 中地 厚元 (第1回委員会まで) てらだ もりまさ 寺田 守正 (第2回委員会から)	京都府 乙訓土木事務所
道路管理者	こやま ひろゆき 小山 博之 (第5回委員会まで) もりもと あきひろ 森本 明浩 (第6回委員会から)	長岡京市役所 建設交通部 道路・河川課

(敬称略)



〒 617-8501 長岡京市開田一丁目 1 番 1 号

長岡京市建設交通部まちづくり政策室市街地整備担当

TEL : 075-955-9719 FAX : 075-951-5410